

# 吾妻五葉松

## 吾妻山の厳しい自然と盆栽文化のつながり

National  
Parks  
of Japan



吾妻五葉松は、日本三大五葉のひとつとして知られる福島市周辺の吾妻山系に自生する五葉松の呼称です。厳しい環境の中で力強く育つその姿は、自然の造形美を感じさせます。特に浄土平や一切経山（いっさいきょうざん）付近では、根元が地表に現れた大きな「根上がり」と呼ばれる樹形が見られ、その独特の形は登山者や自然愛好者の目を引きまます。

福島市は、この吾妻五葉松の魅力を受け継ぐかたちで盆栽文化が発展し、種一粒から苗を育て盆栽を作る「実生（みしょう）」というスタイルがおおよそ100年前に生まれた土地でもあります。自然に育つ五葉松のありのままの姿を鉢の上で表現する盆栽は、山の荒々しい景観や樹形を見立てることで、庭や室内でも自然の力強さや美しさを楽しむことができます。

画像(上)は1970年頃、自然界にある樹形を観察するために盆栽愛好家や盆栽職人たちが山に上がり、大きな根上りを背景に、記念撮影している様子です。吾妻山で育つ五葉松の姿は、後の盆栽文化に影響を与え、自然美を人々の生活空間に取り入れる文化の源となりました。

出典：ぼんさいやあべ〔画像(上)〕 撮影年代＝1970年代ころ



特別保護地区 特別地域 普通地域 JR 私鉄 高速道路 観光道路